

2018 年度台湾派遣レポート

2019年3月17日から3月25日の日程で、研究室の関係者（学部生、院生、OD）が、主に KUASU（Kyoto University Asian Study Unit）のサポートのもと、台湾の学会に参加・研究発表してきました。以下、その様子をお伝えします。

18日から20日にかけては、国立政治大学（National Chengchi University）にて、*Selfhood, Otherness, and Cultivation: Phenomenology and Chinese Philosophy International Conference* へ参加しました。心の哲学や現象学、中国哲学の専門家が世界中から集まっており、彼らの講演を聞くことで大きな刺激を受けました。また、一部のメンバーは、19日、中央研究院（Academia Sinica）における出口教授の講演に帯同しました。

21日は台中市に日帰りで移動し、同市内にある東海大学（Tung-Hai University）において、*Tung Hai -Kyoto University Graduate Exchange Workshop in Philosophy 2019* に参加しました。澤田とロットマンが発表を行いました。



22日は、一部のメンバーは、国立台湾大学（National Taiwan University）において、*2nd Joint Workshop of NTU-Kyoto on "Self and Subjectivity: from Multi-cultural and Interdisciplinary Perspectives"* に参加しました。残りのメンバーは、陽明大学（Yang-Ming University）において、*Mini Yang Ming-Kyoto Workshop* に参加、伊藤・山森が研究発表を行いました。

23日は国立台湾大学（National Taiwan University）において、*Kyoto-NTU Philosophy Colloquium of Graduate Students: Self, Subjectivity and Consciousness* に参加、青木、市來、伊藤、君嶋、佐藤、澤田、ロットマン、山森、劉が研究発表を行いました。



九日間の滞在で各メンバーが三つないし四つの学会・ワークショップに参加し、一つないし二つの研究発表を行うという大変充実したプログラムでした。各々の研究に進展がみられただけでなく、現地の教員や大学院生、ポスドクとの交流も深まり、有意義な派遣となりました。現地の皆様、KUASU 関係者の皆様、教務補佐の青山晋也氏に深くお礼を申し上げます。

参加者：（学部生）金山仁美（院生）青木眞澄、市來昌冬、澤田和範、ミカエル・ロットマン（Miikael Lotman）、山森真衣子（卒業生）佐藤里保（ポスドク）伊藤遼、君嶋泰明、劉吉宴（Chi-Yen Liu）